

## すだ 和 プロフィール

1979年大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)インドネシア語学科卒、商社勤務、2児の母親の視点で子育てに優しいまちづくりを目指す活動を大阪で展開。三田市('96年～)、兵庫県('99年～)の女性センター専門職を経て、2004年7月から民営化された尼崎市女性センター所長('09年3月まで) '09年市議初当選。現在2期目/文教委員、都市美審議会委員等。

## Q&A



Q: 議員なのに年賀状くらいは出すべきではないですか？

A: 法律の定めにより、市内のみなさまにはあいさつ状(年賀状や寒中見舞い状)によるご挨拶ができませんこと、どうぞご理解ください。

◆公職選挙法第147条の2 公職の候補者又は公職の候補者となろうとする者(公職にある者を含む)は、当該選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これらに類するあいさつ状(電報その他これに類するものを含む)を出してはならない。

Q: 3期務めたら議員年金がもらえるそうですね？

A: 議員年金制度は2011(平成23)年6月に廃止されました。私は廃止時に「12年間」務めていないので、受給資格はありません。廃止された時点で12年以上議員をされている方、過去に12年以上務めた方は、以前と同様、受給資格があります。

Q: 元県議の政務活動費不正使用問題裁判が行われていますが、市議会はどうですか？

A: 尼崎市議会では、1991～92年に発覚したいわゆる「カラ出張」事件によって、議会が解散したこと以後、政務活動費についてはこのようなことが二度と起こらないように取り組まれてきました。政務活動費は月ごとに一人当たり月10万円が会派に支給されます。私の会派は7.5万円を主張しました。公務としての調査や研修のための出張は出張内容や経路などを議会事務局と協議した上で、会派の幹事長から議長へ届け出ます。さらにその報告書を書いて幹事長から議長に提出しています。

## 27年度議会一般質問(一部抜粋) すだ和が取り上げたのは

### 6月議会

◆多様な人材を活かす協働・公職について一協働とは？

「地元の声」「地元の了解」と言われるが地元とは？

【答弁】 尼崎市における協働とは立場や特性の異なる様々な主体がお互いを認め、わかり、尊重し、適切な役割、責任分担のもと連携し、自治意識を高め、相乗効果を上げながらよりよい地域社会を、暮らしやすいまちの実現に向けて行動すること、と定義している。「地元」という言葉を行政用語として定義はしていないが、一般的には議員御指摘のとおり、特定の事象に対して関係する地域と解することができる。地元には特定の地域課題など個別の事象に対しては、適宜説明の機会を設け、情報提供を行うとともに、御理解を求めているが、全ての利害関係者に行き届いていないこともあるかと思う。できる限り多くの関係者に情報が届くよう、さまざまな機会を通じて説明責任を果たせるよう努めたい。

◆シティプロモーションの観点からの市民課窓口業務について一転入手続の予想される混雑時期や時間帯への事前準備や対応は？

【答弁】 専門業者に委託することで繁忙期は受付人員の増加を行うことが可能。市民満足度の向上を図るため、価格だけではなく、内容を重視するプロポーザル方式での選定を行う、市内150箇所のコンビニで6時30分から23時までの間、住民票等の証明書交付を実施し、混雑緩和と利便性の向上を図る。

◆生活困窮世帯、母子家庭等の子供の教育、衣食住について

無所属 尼崎市議会議員

むつみ  
すだ 和の  
(須田)

2016  
(平成28)年

2  
月発行

## わくわくねつとニュース

発行元: すだ和とわくわくねつと

発行責任者: すだ 和 尼崎市南武庫之荘1-18-24-403

尼崎市制100周年記念の年が幕を開けました。

尼崎で暮らす、働く、学ぶ、育てるみなさまにとっていっそう幸の多い年となりますよう心から願い、市民の想いの届く市政のために、すだ和も努力して参ります。丙申(ひのえさる)、1956(昭和31)年生まれ、還暦です。「物事が大きく進歩発展し、成熟する年」と言われるこの年。どうかご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### すだ和へのアクセス

○議会「緑のかけはし」議員室 06-6489-6950

○すだ和とわくわくねつと Tel/Fax 06-6438-0242

○メール: [mutsumi.suda@energy.ocn.ne.jp](mailto:mutsumi.suda@energy.ocn.ne.jp)

○ブログ: <http://suda-mutsumi.com/>

○市議すだ和のオフィシャル facebook

<https://www.facebook.com/sudamutsumi>

○すだ和個人の日記 facebook

<https://www.facebook.com/mutsumi.suda.7>

### 9月議会

◆女性の活躍推進について

◎女性活躍推進計画の策定について今後の取組みは？

【答弁】 策定予定の第3次男女共同参画計画の一部を女性活躍推進計画として兼ねることも視野に入れて取り組む。

◎災害時の避難誘導や避難所開設、そ

して避難所運営等、市の地域防災計画では、女性職員の参加がどの場にもゼロにはならないように決められているか？

【答弁】 女性職員の配置に関して、具体的な数値を示していないが、災害対応において女性が重要な役割を担うことは認識している。防災会議の女性部会からの提言等により、避難場所の運営に女性の参画に努めるなどさまざまな項目を反映した。

### 12月議会

◆尼崎版総合戦略について

◆人口ビジョンについて一女性の就労と子育て世帯の転出超過解消について

◎子育て離職女性の再就職をトータルにサポートするため、女性仕事サポートセンターやワークライフバランスセンター機能を持った場の設置が必要ではないか？

【答弁】 現在、女性センターでの相談窓口、マザーズハローワークの出張相談、しごと支援課との共催で女性対象しごと塾の開催、県の機関や市の「しごと・くらしサポートセンター」との連携強化に努めているが、子育て支援等との連携については今後の課題であり、総合的な支援機能の強化に努めたい。

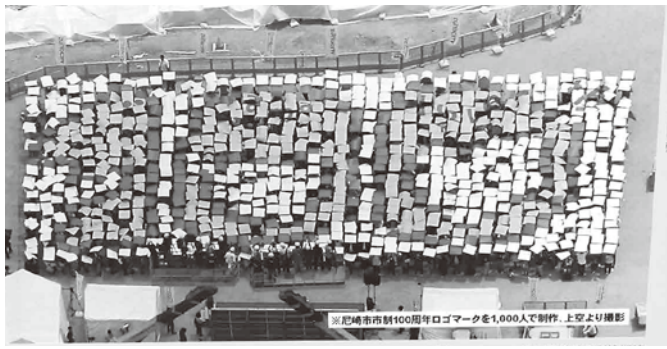
◆指定管理者制度等に関するアウトソーシングのあり方について

◆行政サービスの更なるアウトソーシングの導入に向けた基本的方向性について(「議会だより」を参照ください)

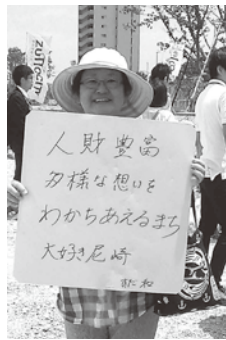


# 市政トピック&活動報告

## 2015年プレ100周年イベント



※尼崎市制100周年ロゴマークを1,000人で制作。上空より撮影



**5月** JR塚口駅前「100周年記念ロゴマーク」を約1000人の市民のみなさんと、地上絵にしました。

市民になって10年あまり、「尼崎の好きなところ」を書くよう求められて、思っていることを書きました。「人財豊富 多様な想いをわかちあえるまち 大好き尼崎」

## 放置自転車対策

2015年4月から指定管理者制度を導入し、改善されました。

すだ和は、大阪市他の事例を視察研究し、このスペースについて社会実験としての取組を議会で提案しました(画像は尼崎市放置自転車対策担当課より提供していただきました)。



## 日本女性会議in倉敷

日本女性会議は'84年から年1度開催されており、'98年には尼崎市で開催されました。今年は10月28日から秋田市で開催されます。



## 市バス民営化に向けて

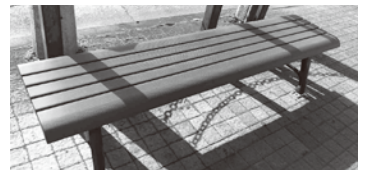
3月19日をもって尼崎市営バスの業務は終了します。運転免許を持たない議員として、ほぼ毎日、市バスを利用しているので、乗務員の待遇やバス・バス



停の利用について、利用者の視点での改善点や課題を、日々、交通局に報告、提案しています。



今年になって、順次ベンチが新しくなったのをご覧になりましたか？



**7月** 6度目の被災地訪問(気仙沼市・仙台市)

## 講演活動

**10月** 近畿市民派議員交流・学習会で、議員対象に「女性活躍推進法と男女共同参画施策～尼崎市の事例他～」について講演しました。



**12月** 女性施策、男女共同参画社会づくりについての勉強会に講師として招かれ講演しました。

## 稲村市長新春のつどい

1月31日(日)、都ホテル・ニューアルカニックで、恒例、「稲村和美市長の新春のつどい」が開催されました。200人を超える参加者に、稲村和美市長は、100周年を迎えた慶びと抱負や感謝の意を述べられ、琉球舞踊の祝舞、市長にちなんだクイズ大会、マリンバ演奏では市長も飛び入りされ、とても上手に叩かれました。市民のボランティアを中心に運営されたこと、しっかりと食べることができ着座のパーティであったこと、テーブルを回ってお一人ひとりと懇談されたことも、稲村市長らしい会でした。



## ひとこと

運転免許を持たない、自転車もあまり乗らない私にとって、尼崎市民になってからの約11年、ほんとうに市バスにはお世話になりました。利用者として、感じたこと、待遇やアナウンスがわかりやすく丁寧な乗務員さんへの評価、また、安全で安心で正確な運行のために、さらに組織として取り組んでほしい課題などについて、その都度、交通局に事実をくわしく伝えています。その市バスも3月19日を持って運行を終え、20日からは阪神バスが、同じ路線を同じ料金等で運行されます。サービス介助士の資格を持った市バスの乗務員が、乗客のために取り組んできたことが、引き継がれるように期待し、引き続きしっかりとバスの運行を見て行きたいと思っております。

